

ESA に関する FAQ： クラスタをセットアップする時の要件は何ですか。

目次

[概要](#)

[クラスタをセットアップする時の要件は何ですか。](#)

[前提条件](#)

[概要](#)

[要件](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は必要とされる E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) のクラスタ処理を設定するための prerequisites および必要条件を記述したものです。

クラスタをセットアップする時の要件は何ですか。

前提条件

- クラスタに加入したい各 ESA の有効な中央集中型管理 フィーチャーキー。
- [AsyncOS 8.5.6](#) から開始して、フィーチャーキーがもはや中央集中型管理 機能を有効にするために必要となりません。 デフォルトで、中央集中型管理 機能はアプライアンスで有効になります。

概要

中央集中型管理 機能は複数のアプライアンスを同時に管理し、設定することを可能にし管理時間を減らし、ネットワークを渡る一貫した構成を確認します。 複数のアプライアンスを管理するための追加ハードウェアを購入する必要はありません。 中央集中型管理 機能はローカル ポリシーに従っている間ネットワーク内の高められた信頼性、柔軟性およびスケーラビリティを提供し、グローバルに管理することを許可します。

クラスタは構成情報を共有する一組のマシンと定義されます。 クラスタの中では、マシン (Cisco アプライアンス) はグループに分けられます; 各クラスタは少なくとも 1 グループが含まれています。 ある特定のマシンは唯一無二の 1 グループのメンバーです。 管理者ユーザは cluster-wide、グループ全体の、または毎マシン基礎のシステムの異なる要素をできま、ネットワークに設定、地理学に基づいて、Cisco アプライアンスのセグメンテーション ビジネスユニット、

または他の論理関係を有効にします。

注: クラスタ処理は ESA 間のロード バランスがルート メールに使用されません。 クラスタ処理は ESA 間のキューが検疫を共有しません。

クラスタはピアツーピア な アーキテクチャとして設定されます; クラスタ内にマスター・スレーブ関係がありません。 クラスタを制御し、管理するためにマシンにログイン することができます。

ユーザデータベースはクラスタのすべてのマシンを渡って共有されます。 すなわち、たった 1 組の全体のクラスタのためのユーザおよび 1 管理者ユーザが (関連するパスワードで) あります。 クラスタに加入するすべてのマシンはクラスタの管理者 パスワードと言われる単一 管理者パスワードを共有します。

要件

- クラスタのアプライアンスは DNS の解決可能なホスト名を備えなければなりません。 また、IP アドレスを代りに使用できます 2 を混合しないことができます。
- クラスタのすべてのアプライアンスは同じ IP インターフェイス名前正確の使用する必要があります。
- クラスタはアプライアンスから AsyncOS の同じバージョンを実行する完全に成る必要があります。
- アプライアンスは SSH によってクラスタに加入できます (一般的にによる 22) ポートでまたはクラスタ コミュニケーションサービス (CCS) (2222) ポート。
- アプライアンスがクラスタに加入したら、SSH またはクラスタ コミュニケーションサービスによって通信できます。 使用されるポートは設定可能です。 SSH はポート 22 で一般的に有効になり、CCS はポート 2222 にデフォルトであります、しかし異なるポートのこれらのサービスのどちらかを設定できます。
- アプライアンスのためにオープンにする必要がある正常なファイアウォール ポートに加えて CCS によって通信するクラスタ化されたアプライアンスは CCS ポートによって互いに接続できる必要があります。
- アプライアンスのクラスタを作成するか、加入するか、または設定するのに CLI コマンド **clusterconfig** を使用して下さい。 クラスタを作成したら、GUI または CLI から非クラスタ コンフィギュレーションの設定を管理できます。

```
> clusterconfig
```

```
Do you want to join or create a cluster?
```

1. No, configure as standalone.
2. Create a new cluster.
3. Join an existing cluster over SSH.

4. Join an existing cluster over CCS.

- クラスタが設定されれば、完全な `clusterconfig` メニューを表示されます:

```
> clusterconfig
```

```
This command is restricted to "cluster" mode. Would you like to switch to  
"cluster" mode? [Y]>
```

```
Cluster [cluster_name]
```

```
Choose the operation you want to perform:
```

- ADDGROUP - Add a cluster group.
- SETGROUP - Set the group that machines are a member of.
- RENAMEGROUP - Rename a cluster group.
- DELETEGROUP - Remove a cluster group.
- REMOVEMACHINE - Remove a machine from the cluster.
- SETNAME - Set the cluster name.
- LIST - List the machines in the cluster.
- CONNSTATUS - Show the status of connections between machines in the cluster.
- COMMUNICATION - Configure how machines communicate within the cluster.
- DISCONNECT - Temporarily detach machines from the cluster.
- RECONNECT - Restore connections with machines that were previously detached.
- PREPJOIN - Prepare the addition of a new machine over CCS.

関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)